

ベルクヒュッテ

Berghutte
(長野県白馬村)



年末に大寒波が来るという天気予報が出ていたが、半信半疑で車山高原から白馬へ向かう。同じ長野県でも車山高原は全く大寒波の心配がないのである。しかし、上田市、安曇野市を經由して車を白馬に向けて走らせると、大町を越えたあたりからといきなり大雪となった。

どうやら白馬では28日から3日連続で雪が降り続けているらしい。おかげで部分的にしかオープンできていなかった五竜のゲレンデが、ほとんどすべて滑れるようになっている。

五竜の名物と言えば、早朝営業。早朝6:30から、とおみゲレンデの緩斜面が1日券もしくは午前券で滑れるのである。しかも朝早い時間帯なので、人口密度は低い。完璧に整備された緩斜面は飛ばして滑るのに最適だ。

前からこのとおみゲレンデの脇に並んでいる宿に宿泊すれば、ゲレンデへのアクセスはすこぶる良いだろうと思っていたが、今回紹介する風呂がある宿は、まさにそのうちのひとつであるペンション・ベルクヒュッテである。

ベルクヒュッテの風呂は1階に2か所あり、基本的に早い者勝ちの貸し切り制だ。

まずは大きい方の風呂から紹介する。洗い場は3か所、浴槽は定員3人ほど。つまりキャパは6人。洗い場にリンスイシャンプーとボディソープは具備している。

次に小さい方の風呂。洗い場が2か所あるが、2人分のスペースはないように思える。浴槽は2人を入れると思うので、キャパは3~4人といったところか。換気はスイッチをオフにしないと、冷たい空

気が浴室に侵入するので注意しよう。洗い場にリンスインシャンプーとボディソープは具備している。

ベルクヒュッテのアドバンテージはゲレンデに近いというロケーションだけではない。朝食に供されるソーセージはなんと手作り。なんとも言えない独特の香りがして、中身はきめが細かいと感じた。スキー場にはペンションがたくさんあるから、それぞれが特徴を出していかないと生き残るのは難しいのかもしれない。主人によれば、ソーセージ作りはかなり面倒なのだという。過去にはベルクヒュッテ以外にも手作りソーセージを手掛けるペンションがあったが、今ではほとんどないらしい。

今日も早朝営業を楽しむために、早起きをする。リフト乗り場にはリフト始動前から15人ほどが集まっている。皆、この朝一番の快適スキーの醍醐味を理解しているのである。早朝営業を6:30から1時間弱楽しんだ後、適度に空腹を感じた頃、宿に戻って7:30から朝食。ゆっくりと雪景色を眺めながら朝食を楽しむのはとても贅沢だ。加えて、手作りソーセージによる栄養補給があれば完璧だ。

ベルクヒュッテは、上記の如くそのロケーションを最大限に活かした使い方をせねば、全く無意味だと思うのである。

DATA

名称	ベルクヒュッテ
所在地	長野県北安曇郡白馬村神城 22133-56
電話	0261-75-2091
営業時間	要確認
定休日	要確認
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2018年12月29日、30日
取材	銭湯愛好会東京支部